

交通ちば



VOL. 394 平成23年3月1日

千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会



野田交通安全協会 野田市役所で年頭視閲式を行う。



館山交通安全協会 館山市の鶴谷八幡宮で交通安全祈願祭を行う。

新たな抑止目標達成を期して
各地で初出式や交通安全祈願祭

各地区の交通安全協会では新年の活動開始にあたり、交通安全死亡事故抑止目標180人以下と12年連続減少達成に向けて初出式や交通安全祈願祭を行いました。

新任交通指導員・地域交通安全活動推進委員研修会を開催

20年の節目を新たな出発点にして

千葉県交通安全協会連合会と交通安全活動推進センターが主催する平成22年度新任交通指導員等の研修会が、2月10日南房総市白浜町で行われたのを皮切りに、山武市、四街道市、松戸市で順次開催されました。新任の交通指導員が交通事故防止活動の基本理念を理解し、街頭活動要領を実践的に学ぶことを目的に、毎年この時期に開催されているものです。



活動要領等を熱心に聞く（白浜町の会場で）

10日は白浜町の白浜フローラルホールに、いすみ、勝浦、大多喜、木更津、千倉など南房総地域の9地区の安全協会から約120人が出席して研修が行われました。冒頭の主催者挨拶で県連合会の椎名事務局長が「地域交通安全活動推進委員制度が発足してから今年でちょうど20年になる。皆の活動で交通事故は減少傾向にあるが、今年の交通死亡事故抑止目標の180人以下、12年連続減少を達成しても



横断旗を使い実践的に学ぶ



腹話術人形を使っての活動事例発表

「りたい」と呼びかけました。研修会では、県連合会の佐藤総務部長が講師になり、自ら進んで自律的に安全行動をする人を育てる交通安全教育や、街頭活動をどのように進めていくか具体例を示しながら述べました。

続いて、県警察本部交通総務課の担当官が交通事故防止活動の要領について話し、横断旗を使つての保護誘導活動の方法を実践的に指導しました。会場から数人の交通指導員が前に出て、車を止めて横断旗で歩行者を安全に横断させる一連の動きを警察官の動作に合わせて繰り返し行い体

交通安全年間スローガンとファミリー作文で最優秀賞を受賞



中央大会本会議の表彰風景、壇上で表彰を受けた鈴木さん（写真提供：（財）全日本交通安全協会）

運動者向け最優秀賞 香取市鈴木優一郎さん
ぼくはここチャイルドシートが指定席

験的に学びました。活動時の身だしなみや態度について、交通安全活動推進センターの職員が話し、手本を示しました。

活動事例発表では幹事協会が学び、これからの活動に役立てていきます。

研修会では、およそ460名が年間の活動報告を行った後、腹話術人形を使つての交通安全教室の進め方を実演しました。

交通安全活動を行なう機関や団体、個人等が一堂に会して開催される「第51回交通安全国民運動中央大会」の本会議が1月18日、日比谷公会堂で行われました。この中で平成23年使用の交通安全年間スローガンの運動者向けの最優秀入選者（内閣総理大臣賞）に選ばれた香取市の鈴木優一郎さんが壇上で表彰を受けました。入選作として本県から、千葉市の上中直樹さんが警察庁長官賞「一滴が、涙に変わるその飲酒」、市川市の倉富みどりさんが全日本交通安全協会会長賞「安全運転 ココロのベルトも引き締めて」、こども部門で旭市の伊東英剛さんが文部科学大臣奨励賞「運転手さん 急いでいるのに、ありがとう」の四作品が受賞しました。また、交通安全ファミリー作文の一般・高齢者の部の最優秀入選者に船橋市の高野喬さんが選ばれました。

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。



東金 大網白里町で町民マラソン大会の交通誘導に従事する。



浦安 日の出公民館前で自転車カゴカバー等を配り啓発する。



千葉南 おゆみ野四季の道駅伝大会で交通誘導に従事する。



茂原 年初セーフティ40日作戦の薄暮時の誘導を行う。



松戸 七草マラソン大会のコースで交通整理に従事する。



船橋 成人の日記念船橋市民駅伝大会で交通誘導に従事する。



市原 八幡地区の飯香岡八幡宮で新年交通安全祈願祭を行う。



松戸東 常盤平地区の7小学校児童のマラソン大会を見守る。



船橋東 高芝地区の高齢者の新年会でマジック漫談で啓発する。



君津 清和公民館で初出式を行い交通事故防止を誓う。



佐倉 京成酒々井駅前交差点でアクション10活動を行う。



市川 県警本部福田交通部長から事故減少の感謝状を受ける。



富津 新井公民館で高齢者の安全教室を開いて啓発する。



旭 県警交通部長感謝状を旭警察署長から伝達される。



行徳 東西線行徳駅前で自転車安全利用キャンペーンを行う。

行徳交通安全協会



安野 智 会長

安野会長からの一言

「地域密着型の交通事故防止活動といふことを念頭に置いて市役所、警察署等と力を合わせて緒事業を行っています。毎月10日の交通安全の日、15日の自転車安全の日には必ず街頭啓発活動を行っています。海辺の平坦な町ですので自転車利用者が多く、自転車の事故が多発しています。そこで、子どものころから安全意识を身に付けてもらおうと自転車教室の開催にも力を入れています。江戸時代、行徳船の出入りで賑わった古い町ですので年間を通じて地元のお祭りも多く、10月は交通指導員が休む間もない忙しさで、それがこの土地の特徴でもあります。」

高澤事務局長の話

「窓口にいる立場として親切・丁寧はいつも心掛けていますが、高齢者の方には、ゆっくり、大きな声で話しかけるようにしています。事務局はあまり前面に出ないようにして、これからも地道に裏方と



岩田千代子さん 大黒敦子さん 高澤昌余事務局長

して交通安全活動を支えていけたらと思っています。」

最近はどうな活動を？

高澤事務局長「交通ちば」の2月号で行徳の活動として紹介されていますが、最近の道交法の改正で自転車の幼児二人同乗が可能になったことを受けて、幼稚園で保護者と園児を対象にした自転車の安全運転講習会を警察署交通課の指導を受けて行いました。」

これからどんな活動を？

安野会長「高齢者が当事者になる事故も多発していますので、高齢者対策にも力を注いでいきます。」

私達の思いが地域の方々の中に浸透していくように、粘り強い活動を続けていこうと思っています。」

2月20日現在県内の交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	3,184件	- 169件
死亡事故件数	18件	- 4件
死者数	18人	- 4人
負傷者数	3,926人	- 207人

*発生件数、負傷者数は概数です。
*数字は平成23年1月1日からの累計です。

死亡事故の特徴

- 死者18人のうち8人が高齢者。このうち歩行中に7人が亡くなっている。
- 四輪乗車中の死者6人のうち2人がシートベルト非着用。
- 死亡事故の原因となった違反では脇見等が5件、安全不確認が4件、速度超過3件、運転操作不适当が2件となっている。
- 死者数18人は全国ワースト11位。

交通指導員 1月の活動

初出式、祈願祭で 心新たに活動を開始

1月中の県内各地区の交通安全協会の交通指導員と地域交通安全活動推進委員の出動回数と出動人員は次のとおりです。

- 駐車対策 19回 166人
- 安全教育
- 児童 54回 160人
- 一般・高齢者 12回 25人
- 自転車教室 3回 3人
- 祭礼警戒 53回 720人
- 街頭活動
- チャイルドシート・シートベルトの着用指導 15回 121人
- 街頭監視 247回 1972人
- 街頭広報 49回 99人

○各種イベント

132回 1369人

○会議・研修会等

46回 260人

□出動回数総数 630回

□出動人員総数 4895人

交通死亡事故12年連続減少と抑止目標の「アンダー180」の達成に向けた「年初セーフティ40日作戦」(1月20日～2月28日)に合わせ、各地区の交通安全協会では、交差点や幹線道路などで街頭啓発活動を行いました。

お花見のシーズンになります。春の陽気に誘われて人の動きが活発になります。思いやり運転をお願いします。

発行 財団法人千葉県交通安全協会連合会

ホームページアドレス
http://www.chiba-ankyo.or.jp

千葉市美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

